



糶谷
こうじや
糶谷地区地域情報誌
平成14年3月1日 創刊号
発行:わがまち大田糶谷地区推進委員会
編集:糶谷地区地域情報誌編集委員会
事務局/糶谷特別出張所 TEL.(3742)4451 FAX.(3742)4479

糶谷地区三育防災訓練

備えあれば憂いなし

昨年、11月11日に糶谷地区10自治会・町会による一斉防災訓練が実施されました。当日は快晴の下に、区在住外国人、ボランティア団体を含め2400名もの参加者が様々な訓練に取り組みました。

午前九時、訓練開始の放送とともに自治会・町会それぞれの地域訓練が始まりました。次いで区内初の試みとなる学校避難所を舞台にした五つの小中学校での同時訓練と、まさに本番さながらの、熱い一日となりました。



地域訓練(消火器操作訓練)

訓練を通じて防災意識の向上はもとより、避難所生活の実態をイメージすることもできました。

また、災害時における近隣住民、自治会・町会とのつながりの大切さを直接肌で感じることができました。今後も地域、学校、行政が一体となり、「災害に強いまち「糶谷」」づくりを進んでいくよう皆様の積極的な参加を期待いたします。(七)



学校避難訓練

地域情報誌「糶谷」の発行にあたり

糶谷特別出張所長 田中 教彦

この度、糶谷地区でも地域情報誌を発刊する運びとなりました。糶谷地区以外の各地区では既に以前から、それぞれ特色のある情報誌を発行し地域住民の皆さんに親しまれています。

区は、「新長期基本計画」に21世紀初頭の区政運営の指針を告示し、「安心・輝き・潤い」のまちづくりを推進しています。しかし、これも区民の皆さんと区が共に区政を進めることによって初めて実現できるものです。

そこで重要になるのが、情報です。区政の情報、地域の情報を区民と区が共有することが協働の前提であり、情報誌の意義もここにありと思えます。「情報なくして協働なし」です。

『糶谷』は地域にお住まいの皆さんにボランティアで編集していただき生まれた、出来たてほやほやの手作り情報誌です。その『糶谷』が地域や区政のことを知り、皆で考え、共に進めるまちづくりの一役買えるような情報誌に大きく育つことを心よりご期待申し上げます。

最後に、『糶谷』発行に多くのご苦勞を重ねられた編集委員の皆さん、

ご挨拶



大田 区長
西野 善雄

今回、糶谷で初めて地域情報誌が発行されるとお聞きして、心からの拍手を贈ります。

地方自治体としての大田区にあっても、その個性や特色を外に向けて、如何に発信していくか、第三者に理解を深めて頂くために欠かす事の出来ない事です。

どちらかと言えば、大田区行政は宣伝下手だと言われております。他所様が、今度こんな事を始めるとマスコミに大宣伝、何？そんな事は十年前前から大田ではとくに遣っているよ！それは所詮、やっかみにしかありません。もっと早く宣伝し無かった方が悪い。区民の方々には第一番にお知らせする事、活用していただく事が大切だったので。今後は何よりも早く、大いに反省して、区民の皆さんに十分なPRを心掛けて参りたいと考えます。

地域の事は地域の中で、声・情報にしていく、そして活動につなげ、解決すべき問題は皆さんの知恵とエネルギーにより良い方向を探す。その手掛かりは情報の共有にあります。共通の理解から話が始まり、より良い解決が図られることになるでしょう。

地域情報誌の持つ意味を思う時、関係者のご苦勞と共に、皆さんが協力した、まちへの係わり方、発展への意欲がより強力なエネルギーになると期待致します。

地域情報誌『糶谷』の創刊を祝って



大田区自治会連合会会長
糶谷地区自治会連合会会長
吉澤 敬地

この度、糶谷地区に待望の地域情報誌『糶谷』が誕生いたしました。誠にめでたいことだと思います。

糶谷のまちを考えます時、そこに住む方々は、人一倍地域に対する愛着が強く、連帯の意識は、まさに一枚岩のように強固なものがあります。祭礼や防災訓練、連合運動会といった行事にしても常に多くの住民が参加し、盛り上がりを見せています。人々の人情は厚く、子どもたちの健全育成にも熱心です。これは、糶谷の良き伝統であり失ってはならない大切なものです。

最近では、古くから糶谷にお住まいの方に加え、他所から転入される方も増えていきます。新旧の住民の皆さまが力を合わせ住みよいまちづくりを行なうには、共通の話題、情報が欠かせません。また、地域の文化や歴史を若い世代に継承していくことも重要です。そのため、今回誕生しました情報誌『糶谷』の果たす役割は大きいものがあります。

本誌は地域の輪を更に大きく広げ、糶谷地区3万6千住民が、わがまちを知り、地域の明日を考えるのに無くてはならないものとなることを目指します。地域を挙げて『糶谷』を応援していただき、大いに活用させていただきますようお願い申し上げます。創刊のご挨拶とさせていただきます。

ご支援、ご協力を賜りました町会・自治会を始めとする地域の方々へ厚く御礼申し上げます。

編集委員紹介

- 編集委員長 倉橋 満 (西糶谷四)
- 編集委員
- 太田 信一 (大森南一)
 - 岡 秀光 (北糶谷一・二)
 - 佐々木繁雄 (西糶谷一)
 - 和泉義文 (西糶谷一)
 - 丸山 健二 (西糶谷二)
 - 吉澤誠一郎 (西糶谷三)
 - 片田隆嗣 (東糶谷一・二)
 - 縄江 忠信 (東糶谷三)
 - 芹澤 茂 (東糶谷四・五・六)
 - 荏隈眞五 (東糶谷四・五・六)
 - 稲村珠美 (東糶谷六都営)
 - 高橋 幸子 (青少対)
 - 宮田 嘉代美 (青少対)

編集後記

地域の絆を生み出す情報誌『糶谷』が誕生しました。創刊号の生みの苦しみもありましたが、編集委員一同ほっとひと安心。そして第一号を地域の皆さんにお届けできることを喜んでいきます。

第一号ですから堅い内容になりました。次号からは、地域の皆さんの生活に密着した内容を考えてまいります。

皆さんからの提言、要望、寄稿、情報提供をお待ちしています。(倉)

【問合せ先】糶谷特別出張所

電話 03(3742)4451
FAX 03(3742)4479

靴谷地区自治会連合会(連合町会)は10の自治会・町会で組織しています。

靴谷地区の自治会・町会は、昭和27年町内会を禁止する政令の廃止を受け、再結成・創立されました。その後、新たに加わる自治会・町会があり、現在、靴谷地区自治会連合会は10の自治会・町会で構成されています。現在大田区は18の地区に別れています。そのそれぞれに特別出張所が設けられています。靴谷地区自治会連合会の10の自治会・町会は靴谷特別出張所の管轄となっています。活力ある地域づくりが求められている今日、自治会・町会の役割は益々大きくなっています。あなたの住む地域の自治会・町会をぜひマップで確認してください。そして、積極的な地域の催し等へ参加もお願いいたします。

▲靴谷特別出張所

西靴谷一丁目町会
町会長/内村 正法
町会世帯数/2,097世帯
人口/約4,640人
西靴谷一丁目は従来の家内工場が徐々になくなり、いち早く住宅地に変貌した町会と思ってお自負しております。また、町会内に信号のある交差点は二箇所しかないのも自慢の一つ?



仲江名神社
鷹殿を副板に張り替えました。とてもきれいになりました。

西靴谷二丁目町会
町会長/松原 茂登樹
町会世帯数/2,135世帯
人口/約4,560人
自分たちの町は、自分たちで守るを合言葉に、災害に強い町づくりを目指し、防災訓練等にはより多くの人に参加を呼びかける活動をしています。



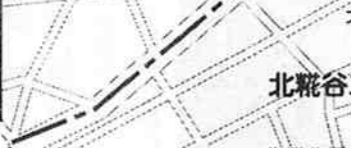
災害弱者支援ボランティアの活動訓練

西靴谷四丁目町会
町会長/鈴木 定雄
町会世帯数/2,193世帯
人口/約4,480人
靴谷駅を出るとメインの商店街。その賑やかな裏は東西にひろがる静かな草花の多い住宅街。



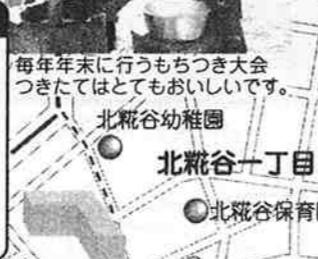
靴谷駅▶
駅心をつらぬく
直通電車は
通勤通学、そして
成田空港までと、
とても便利。

北靴谷一・二丁目町会
町会長/指田 直彦
町会世帯数/1,947世帯
人口/約4,280人
昭和は工を中心に商、住と三者が一体となり町が形成されていたが近年は住、工、商と変貌している三者が常に融和を保ち住み良い町造りを目指している。



毎年年末に行うもちつき大会
つきたてはともおいしいです。

大森南一丁目自治会
自治会長/鏡目 保
町会世帯数/729世帯
人口/約1,610人
ゆったりした親水森林公園と事業所や快適な住宅街が調和のとれたおちついた町です。



▼呑川沿いの大森南一丁目公園
春のお花見も楽しみ、そして夏は夕涼み。

東靴谷一・二丁目自治会
自治会長/石井 庄四郎
町会世帯数/1,887世帯
人口/約4,210人
自治会長を中心に行働力のあるまとまった町を目指し、防災訓練をはじめ町会全体の行事も盛んに行っています。



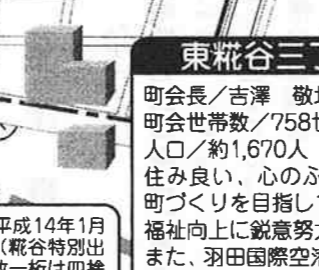
東靴谷1・2丁目のお神輿
祭礼・パレードには町会子ども
達が威勢よくかっづきます。

東靴谷四・五・六丁目町会
町会長/石井 邦政
町会世帯数/1,100世帯
人口/約2,560人
町会全体が準工業地帯。大きな工場跡地の再開発に町会全体の期待がかかります。町会会館のある旭児童公園は、靴谷祭神輿渡行の出発地です。



▲東靴谷四五六町会会館
町会にまじりランドマークです。

東靴谷六丁目都営住宅自治会
自治会長/今野 奏平
町会世帯数/800世帯
人口/約1,800人
隣接する東靴谷第一公園には150本のみごとな桜の大樹が。春には桜花爛漫と咲きほころ。



▲南前堀排水場跡(南前堀緑地)
地盤の低い靴谷の街を水害から守るため
大いに活躍しました。

東靴谷三丁目町会
町会長/吉澤 敬地
町会世帯数/758世帯
人口/約1,670人
住み良い、心のふれあいのある町づくりを目指して、地域発展と福祉向上に鋭意努力しています。また、羽田国際空港と共に益々の発展が期待される地域です。



東靴谷三丁目の子ども達が
通った羽田旭小学校は昨年
創立50周年を迎えましたが、
少子化等により今春統合に
なります。

